

# TOTO

## フリーサイズ大型鏡 2方フレーム仕様 MMA 1・2

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

### 1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けください。

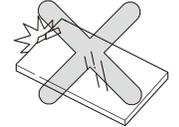
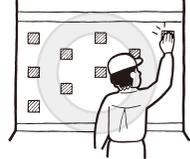
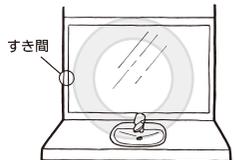
- この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うことが想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	 は、してはいけない「禁止」内容です。
	 は、必ず実行していただく「強制」内容です。

注意	
 <b>禁止</b>	鏡をカウンターや壁などにぶつけない 鏡が破損し、ケガをするおそれがあります。 

注意	
 <b>禁止</b>	現場で鏡の加工をしない 鏡が破損し、ケガをするおそれがあります。 
 <b>必ず実行</b>	鏡開梱時、取り付け時は鏡専用吸着盤を使用する 鏡専用吸着盤を使用しないと手を挟み込んだり、鏡のエッジでケガをするおそれがあります。 
	ミラーマットの取り付けは、手順に従って確実に行う 取付方法に不備があると、鏡に力がかかった時、鏡が破損し、ケガをするおそれがあります。 
	鏡取り付け時、鏡と壁の間にはすき間を設ける 壁がひずんだ場合、鏡に力がかかり、鏡が破損してケガをするおそれがあります。 

# 1

## 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

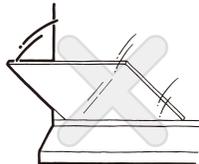
### ⚠ 注意



必ず実行

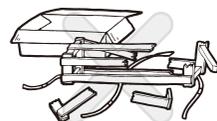
フレームの取り付けおよび鏡の取り付けは、手順に従って確実にを行う

取付方法に不備があると、鏡が落下し、ケガをするおそれがあります。



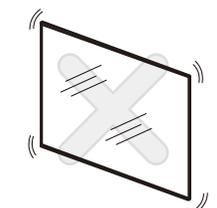
開梱後、不要になった包装材はすみやかに処分する

木枠、釘および締め付けバンドなどでケガをするおそれがあります。思わぬ事故につながるおそれがあります。



工事完了後、鏡にガタツキがないかを必ず確認する

設置が不完全な場合、使用中に鏡が転倒してけがをする原因になります。



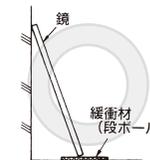
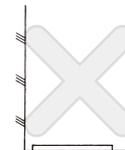
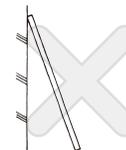
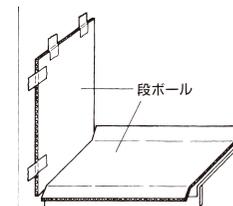
# 2

## 取り扱い、施工上の注意

●鏡を取り付ける前に壁面裏側に補強木が取り付けられていることを確認してください。

●カウンターおよび壁面(片側)は包装材の段ボールで図のように保護してください。

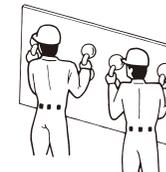
●鏡をおく時は図のように立てかけ必ず床に緩衝材(段ボール)を敷いてください。



●鏡の取り付けには鏡専用吸着盤をご用意ください。



●鏡の質量は12.5kg/m<sup>2</sup>ですから持ち運びの際は十分ご注意ください。また、取り付けは、2人作業で行ってください。



●現場で鏡の加工をしないでください。腐食の原因になります。

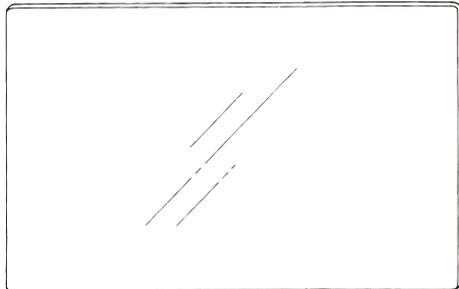
●鏡を破棄処分する場合は、許可を受けている処理業者に処理を依頼してください。

# 3

## 部品の確認

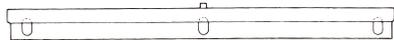
次の部品があることを確認してください。

鏡

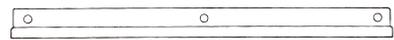


鏡

フレーム類



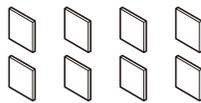
上フレーム



下フレーム



鏡接着剤  
(ホホワイト)



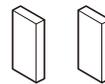
ミラーマット  
(適数)



プラグ用丸木ねじ  
樹脂プラグ付  
( $\phi 3.8 \times 32$  フレームの穴数分)



上フレーム固定ねじ  
( $\phi 4 \times 32$ )



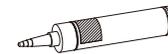
緩衝用ライナー  
(2個)



調整用ライナー



分割鏡用ミラーマット



シリコンシール剤  
(クリアー)



本書

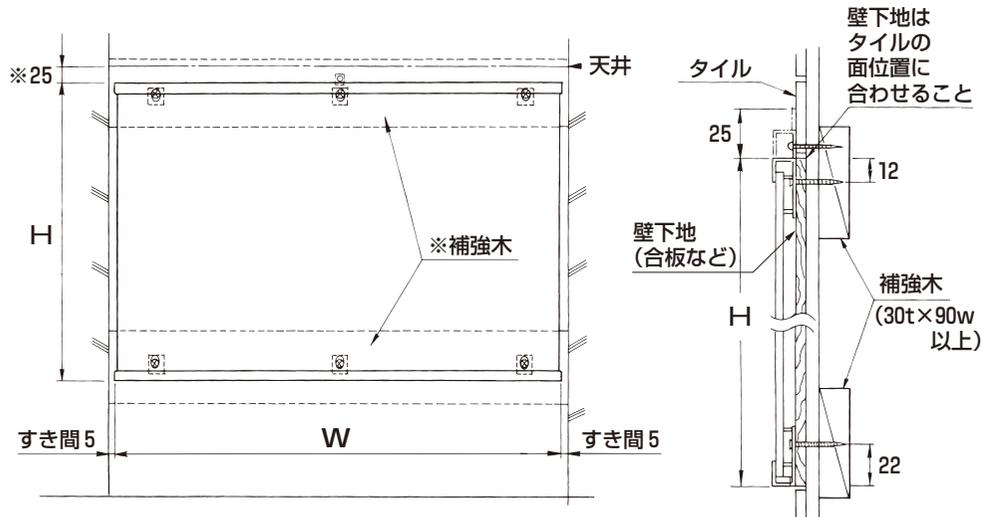
施工説明書

必ずお客様にお渡しください



取扱説明書

# 4 工事寸法



H：ご注文鏡高さ寸法（フレーム込み）  
 W：ご注文鏡間口寸法  
 注）鏡本体の寸法はH-8mmとなります。

（例）品番：MMA1A1000A0900Wの場合

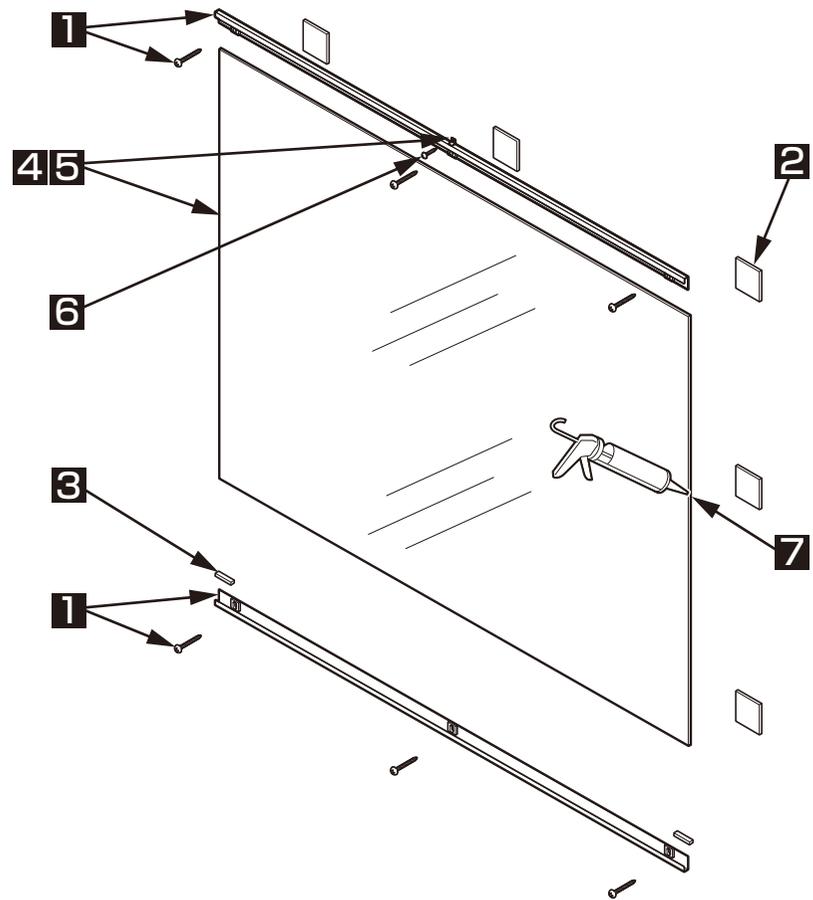
	幅寸法	高さ寸法
フレーム込みの寸法	1000 (W寸法)	900 (H寸法)
鏡単体の寸法	1000	892 (H-8)

- ※補強木
- ・木造壁の場合  
 フレーム固定位置の壁裏には、幅90mm厚さ30mm以上の補強木を通してください。
  - ・軽量鉄骨の場合  
 鏡裏の壁下地はt12以上の合板貼りにしてください。

- 鏡上部には施工上25mm以上の空間を確保してください。  
 （取り付けの際、上フレームが上にずれる必要があります。）
- サイドの壁仕上面より5mm以上のすき間を確保してください。
- 鏡本体の製作寸法はご注文鏡高さ寸法Hより8mm小さくなります。
- ミラーマットは鏡のゆがみ調整にご使用ください。
- 鏡の固定はフレームのほか同梱の接着剤をご使用ください。

（タイル壁の場合）  
 鏡の壁下地は壁タイルと面位置を合わせるように仕上げてください。

# 5 施工の概要



- 1 フレームの取り付け
- 2 ミラーマットの取り付け
- 3 緩衝用ライナーの取り付け
- 4 鏡の仮固定
- 5 鏡の高さ、ゆがみの調整
- 6 鏡の本固定
- 7 シリコンシーラ剤仕上げ

裏面へつづく

## 1 フレームの取り付け

### ⚠ 注意



必ず実行

フレームの取り付けは、手順に従って確実に行う  
取付方法に不備があると、鏡が落下し、ケガをするおそれがあります。

※コンクリート壁の場合、樹脂プラグをご使用ください。

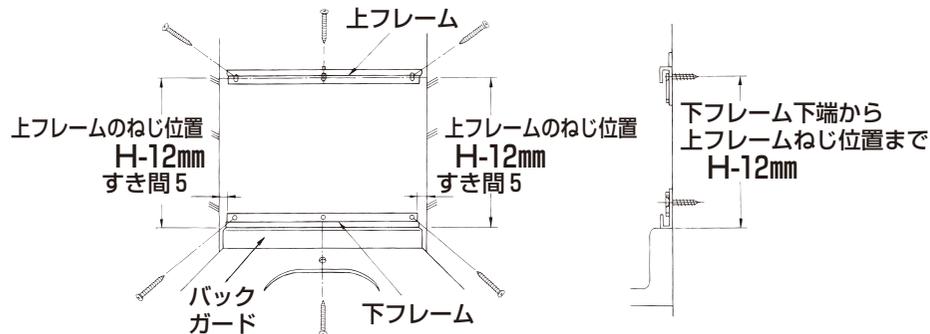


図1

H：ご注文鏡高さ寸法（フレーム込み）  
注）鏡本体の寸法はH-8mmとなります。

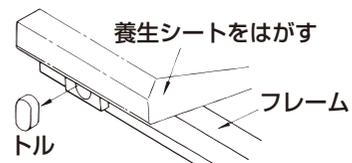
### (1) 下フレームの取り付け

- カウンターバックガードの上にフレームをのせてビスで固定してください。

### (2) 上フレームの取り付け

- ビスが図1の位置になるよう上フレームを固定してください。

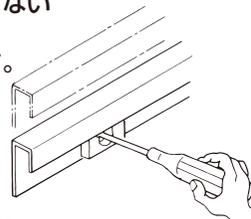
#### フレームの準備



#### 上フレームの固定

上フレームは自重で下がる  
程度にビスを締め付け、  
上方に引き上げておきます。

上下に  
動くこと



※両サイドが壁の場合は左右のすき間を均一にしてください。

※壁に凹凸がある場合はフレームと壁の間にかいものを入れて、  
フレームにゆがみがないようにしてください。

## 2 ミラーマットの取り付け

### ⚠ 注意



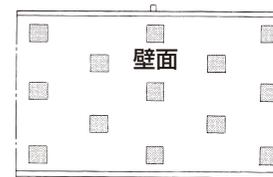
必ず実行

ミラーマットの取り付けは、手順に従って確実に  
取付方法に不備があると、鏡に力がかかった時、鏡が破  
損し、ケガをするおそれがあります。

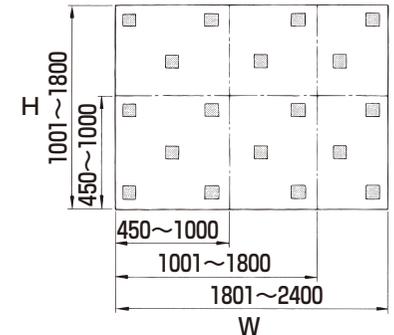
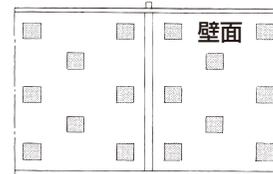
- (1) 壁面は空ぶきし、汚れ、水、油の付着を落としてください。
- (2) ミラーマットを図のように鏡の大きさに応じ壁面にはりつけてください。

H：ご注文鏡高さ寸法（フレーム込み）  
W：ご注文鏡間口寸法

(例) 1800×1100の一枚鏡の場合



(例) 1800×1100の分割鏡の場合

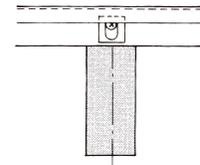


※ミラーマットは、調整用に3枚多く  
同梱しています。

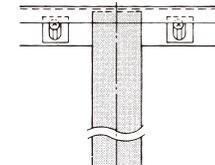
#### 分割鏡の場合

- フレームを下げた状態で細長いミラーマット  
を分割位置に図のように貼りつけます。

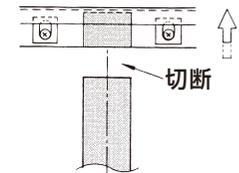
分割部にパッキンがある場合



分割部にパッキンがない場合



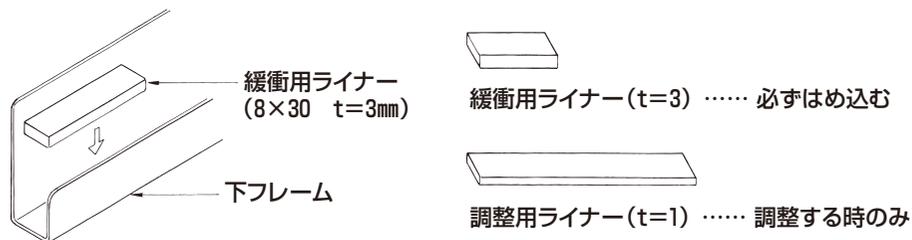
- 上フレームとの接続部を切断し、上  
フレームを上方に引き上げておきます。



# 6-2 施工手順

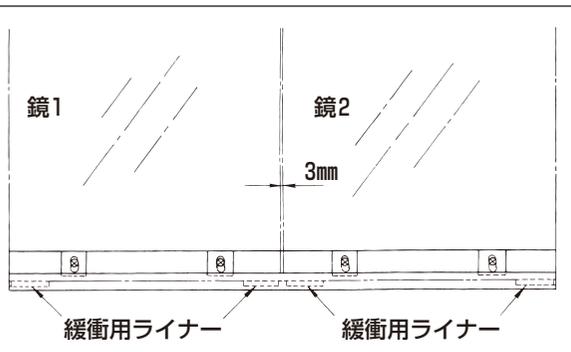
## 3 緩衝用ライナーのはめ込み

- 下フレームの両サイドに緩衝用ライナーを必ずはめ込んでください。



### 分割鏡の場合

- 1枚の鏡ごとに両サイドにはめ込みます。
- 鏡と鏡の間は3mmのすき間を確保してください。



## 4 鏡の仮固定(つづき)

### ⚠ 注意



必ず実行

**鏡取り付け時は鏡専用吸着盤を使用する**

鏡専用吸着盤を使用しないと手を挟み込んだり、鏡のエッジでケガをするおそれがあります。

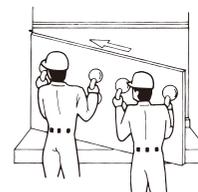


禁止

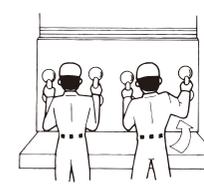
**鏡をカウンターや壁などにぶつけない**

鏡が破損し、ケガをするおそれがあります。

①



②

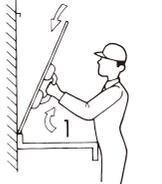


③



両サイド壁の場合は壁にあたらぬよう斜めに差し込みます。

④

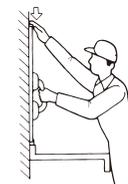


下フレームに鏡を差し込みます。

⑤



⑥



上フレームを下げます。

## 5 壁とすき間、ゆがみの調整

## ⚠ 注意



必ず実行

鏡取り付けは、手順に従って確実に行う

取付方法に不備があると、鏡が落下し、ケガをするおそれがあります。



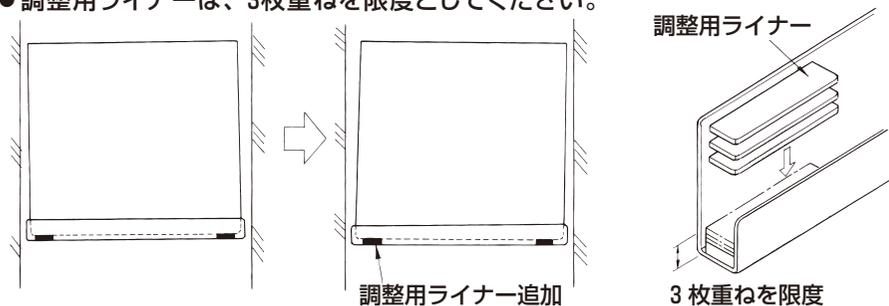
必ず実行

鏡取り付け時、鏡と壁との間にはすき間を設ける

壁がひずんだ場合、鏡に力がかかり、鏡が破損してケガをするおそれがあります。

## (1) 壁とのすき間を確認します。

- すき間が均一でない場合には調整用ライナー(1mm厚)を30mm程度に切り、重ねてはめ込み調整します。
- 調整用ライナーは、3枚重ねを限度としてください。



・ライナーは左右にずらすことでも高さの微調整ができます。

・鏡のフレームへのかかりは5mm以上確保してください。

5mm以上確保してください。

・分割鏡の場合も同様に各々の鏡についてライナー厚の調整をします。

調整用ミラーマットをはり重ねます。

## (2) 鏡のゆがみがないか確認します。

・壁の不陸により鏡が凹面にゆがむ場合はミラーマットで調整してください。

## (3) すき間、ゆがみの調整が完了したらいったん鏡を取り外します。

## 6 鏡の本固定

## ⚠ 注意



必ず実行

鏡の取り付けは、手順に従って確実にを行う

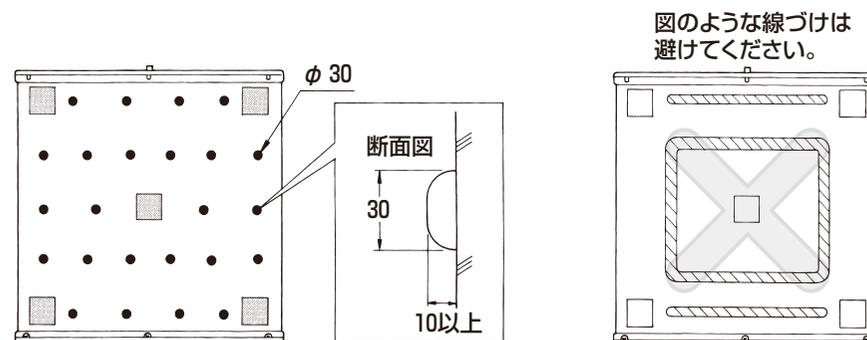
取付方法に不備があると、鏡が落下し、ケガをするおそれがあります。

同梱されている接着剤を必ず使用する

シリコンシーラ剤や他の接着剤を使用すると鏡が腐食するおそれがあります。

## (1) 同梱の接着剤を壁面に約150mmピッチ(1mあたり24ヶ所)で均等に塗布します。

ミラーマットを避け、点づけしてください。



## (2) 鏡を④と同じ要領で取り付けます。

## (3) 接着剤がなじむように適度に鏡を押ししてください。

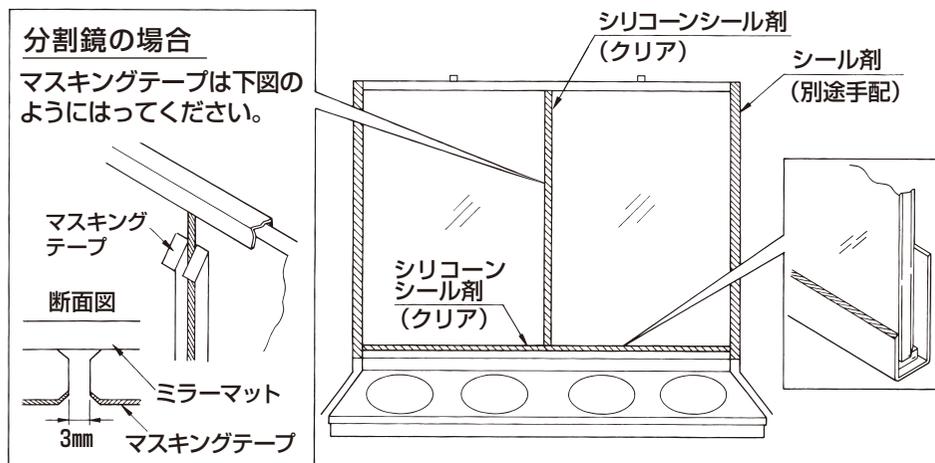
## (4) 上フレームを固定ねじで固定してください。

コンクリート壁の場合は、ねじ下穴(φ3.4-42)をあけてください。

## 6-4 施工手順

### 7 シリコンシール剤仕上げ

- 周囲の汚れを取り所定の位置にシールを行ってください。



※両サイドのシール剤に、酢酸系は使用しないでください。

### ⚠ 注意



必ず実行

所定の位置に必ずシリコンシール剤でシールを行う

すき間に入った水がコンセントにかかり、漏電や火災につながるおそれがあります。



## 7 取付完了後の確認と清掃

- 取り付けが完了したあと、鏡のゆがみ・ガタツキがないか確認してください。
- 製品についた汚れは、濡れた布をかたくしぼってふきとってください。その後、水で湿らせた布に少量の中性洗剤をつけてふき上げ、最後にからぶきしてください。

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。